

# 今こそ真に実効性のある 流通改善に邁進

本日は大変お忙しい中、通常総会にご臨席を賜り誠にありがとうございます。

また、日頃は卸連合会の活動に対しましてご理解とご協力を賜り、重ねて御礼を申し上げます。

さて、今年度はトリプル改定をはじめ薬価制度改革や保険制度の見直し、さらには流通改善、地域包括ケアシステムへの対応、医療DXの推進など様々な課題への取り組みが必要となる変化の年です。

この変化の年において、私たち医薬品卸は今まさにコンプライアンスを徹底しつつ、過去からの古い商習慣を一新する節目を迎えています。

その一丁目一番地となるのが流通改善ガイドラインの改訂でございます。

昨年会長就任にあたり卸経営が危機的な状況にある中で古い商習慣を変えていこう、変える勇気を持つと申し上げましたが、この改訂への対応が医薬品卸売業界の命運を左右する分水嶺になると思っております。

3月1日に改訂されました流通改善ガイドラインには、医療上の必要性の高い医薬品を価格交渉の段階から別枠として、個々に単品単価交渉すると明記されました。

これに対し卸連合会といたしましては、別枠品マスターデータベースを構築し3月下旬から運用を開始いたしました。別枠品を見える化し価格交渉に携わるすべての皆様にアクセスしていただくことで、流通当事者間による共通の理解のもと交渉に取り組めるものと考えております。

卸連合会といたしましては、銘柄別薬価収載の

趣旨にそぐわない総価取引を是正し、単品単価交渉を徹底するなど、流通当事者としての自覚を持って取り組んでまいりたいと思います。

事あるごとに申し上げておりますが、医薬品卸売業界を変えるためには、各会員企業それぞれ自らが変わることが重要であり、そのためには自らを律し、自らの規範にのっとり行動する自律と、自らが他者に依存せず行動する自立、この2つのじりつが必要ではないかと思っております。

流通改善をやり遂げることが医薬品の安定供給に繋がるものと、私は確信しておりますし、一番大事なことは患者様に必要な医薬品が届き治療ができることでもあります。

環境が整い私たちにとりましては待ったなしの状況となりました。今こそ真に実効性のある流通改善に邁進してまいりたいと思います。

そして卸連合会として成し遂げるべき課題はもう一つございます。それは一会員企業ではできないことを実現することであり、まさしくそれが業界団体である卸連合会の存在意義だと思っております。

その一つが業界団体としての意見を伝えるということでございます。中医協では会員企業の皆様方にご協力いただいたアンケート結果をもとに、薬価制度改革に向けて積極的に要望を伝え、流改懇においては医療上の必要性の高い医薬品を別枠に分類することなどの意見を申し述べてまいりました。また、理事会後に行われる定例の記者会見も卸連合会の考えを伝えるための大事な場として位置づけてまいりました。

特に中間年の薬価改定については、骨太の方針

一般社団法人  
日本医薬品卸売業連合会  
会長

## 宮田浩美



に向けて抜本的な見直しを求めてまいります。引き続きあらゆる機会を通じ、卸連合会としての考えや意見を伝えてまいりたいと考えております。

また同時並行で私たち医薬品卸の姿や存在意義をもっと世の中に知っていただきたい、そのためにしっかりと業界内外に情報を発信していきたいと考え、4月にはホームページを刷新し、さらにこのたび広報用パンフレットを制作いたしました。

医薬品卸で働く皆様が自信と誇りを持って働ける環境、働き甲斐のある魅力的な産業を目指すとともに医薬品卸で働きたいと次代を担う若者にも共感してもらえるよう、引き続き、こうした取り組みを一層強化してまいりたいと考えております。

そして卸連合会が成し遂げるべき最も重要なことは、会員企業の共通課題を解決することだと考え、令和6年度事業計画に盛り込んでおります。会員企業の皆様に卸連合会に加盟するメリットを享受していただける取り組みを強力に推し進めてまいりたいと思っております。

元日に発生した能登半島地震の対応では、卸間で情報連携を図り医薬品の供給に努めていただきましたが、一方で課題も浮き彫りになったものと捉えております。各会員企業と卸連合会との情報連携の課題をはじめ、優先給油や優先車両の扱いにおける課題、さらには災害時の共同配送の仕組みづくりなど、大規模災害やパンデミック時における盤石な流通体制の構築に取り組んでまいりたいと思っております。

さらに物流2024年問題への対応や、返品された商品の中抜け問題、業界内における請求書や納品

伝票など帳票類のフォーマットの統一化など、医薬品卸売業界にはこれまで解決できなかった様々な課題がございます。

それらの共通課題に対し業界としての基準や業界標準モデルをつくり、効率化に繋げていくなど、会員企業の皆様に存在価値を実感していただける、そのような卸連合会に変革してまいりたいと思っております。

以上、医療用医薬品について申し上げましたが、大衆薬につきましてはセルフメディケーション領域に関する市場の活性化とともに、セルフメディケーション推進ビジョンを踏まえた取り組みを推進してまいりたいと考えております。

後ほどの議案となりますが、これまで申し上げてまいりましたことを今総会において、会員企業の皆様の総意のもとで決議したいと考えております。

共感しないと行動に移せない。この言葉は、私自らの信条であります。会員企業の皆様方と共感しながら、コンプライアンスを最優先に商習慣を一新することや業界にある共通課題の解決にチャレンジしたいと考えており、そのことが私たち医薬品卸売業界が大きく変わっていける唯一の道筋だと思っております。

最後になりますが、日本医薬品卸売業連合会に関わるすべての皆様のお力添えをいただきますよう、心よりお願いを申し上げまして私からの挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

\*本稿は、令和6年5月30日に開催された当卸連合会の第12回通常総会における、宮田会長の挨拶に基づき作成したものです。